

第335回教育研究評議会議事要録

1. 日時 令和2年5月19日(火) 13:30~14:00
2. 場所 オンライン開催(大会議室)
3. 出席者 三浦学長、塩谷理事・副学長、二見理事・副学長、
内田理事・事務局長、谷副学長、佐野副学長、塘副学長
朝賀人間発達文化学類長、中村評議員、初澤評議員
鈴木行政政策学類長、高橋評議員、福島評議員
貴田岡経済経営学類長、末吉評議員、福富評議員
佐藤共生システム理工学類長、神長評議員、長橋評議員
生源寺食農学類長、荒井評議員、金子評議員
小野原基盤教育主管、難波環境放射能研究所長
【オブザーバー】高橋理事、緑川理事、上井監事、橋本監事
4. 欠席者 なし

5. 議事

【確認事項】

第334回教育研究評議会議事要録を原案のとおり確認した。

なお、高橋評議員から、第333回教育研究評議会の審議事項(3)福島大学名誉教授の称号授与について、及び(4)福島大学における多様な性・性的マイノリティに関する基本理念と対応ガイドラインについて、表決書による意見への回答に関する質問が出され、三浦学長から、情報を整理したうえ次回の教育研究評議会で報告する旨説明があった。

【審議事項】

(1) 第3期中期目標期間の教育研究評価における研究業績説明書について

塩谷理事・副学長から、資料1に基づき、第3期中期目標期間の4年目終了時評価のうち、「教育研究の状況に関する評価」(教育研究評価)における各研究科、農学群及び環境放射能研究所の「研究業績説明書」について提案があった。

審議の結果、原案のとおり承認され、各学類教員会議へ、口頭にて報告することとした。

【報告事項】

(1) 大学等の「復興知」を活用した福島イノベーション・コースト構想促進事業(重点枠)

採択4大学による要望書について

三浦学長から、資料2に基づき、福島イノベーション・コースト構想が進めている「大学等の復興知を活用した福島イノベーション・コースト構想促進事業(重点枠)」が今

年度で終了することとなっているが、今後も浜通りの復興のためには、同事業及び同経費は重要であること、また、同事業の取組を現在復興庁で検討を進めている国際教育研究拠点に引き継いでいくことが重要であると考えことから、同事業に採択されている福島大学、長崎大学、東京大学、東北大学の4大学学長名で、復興庁及び文科省に要望書を提出することについて報告があった。

各学類教員会議へ、教職員専用総合案内掲載資料参照の上、報告することとした。

(2) その他

なし